

## 1 昨年のハダニ類発生状況

ナミハダニとカンザワハダニが6月下旬から一部園地で発生し、7月中旬頃から産地全体で急増しました。これらのハダニ類は高温条件下で発育、増殖が極めて速いことが特徴です。

今年の気象も高温で推移すると予想されており、昨年同様にハダニ類が例年より早く・多発生する恐れがあります。

## 2 下草の高刈りでハダニを食べる「土着天敵」を保護しましょう！

園地内にはハダニ類を捕食するカブリダニ類等の「土着天敵」がいます。園地をカブリダニ類が生息しやすい環境にすることで、ハダニ類が急増しにくくなります。

### ◎下草管理方法

**重要！**

園地内の下草は、きれいに刈りすぎない！

カブリダニ類は園地内の下草のある場所に生息しています。カブリダニ類が増殖しやすい下草管理を実施しましょう。

- ① 除草剤の使用はできるだけ控える。  
（周囲柱や中柱周辺など、草刈機が入りにくい部分に使用）
- ② 乗用草刈り機では刈り高を長め（7～8cm）に設定する。
- ③ 樹の株元（半径50cm程度）の下草を残す。

刈り高を高く設定し、下草を長めに残す。



刈り高を最高に設定（7～8cm）



株元草生栽培

株元の半径50cm程度のエリアは、下草を刈らない。

写真：「農食事業 28022C<w天敵>コンソーシアム 新・果樹のハダニ防除マニュアル<w天>防除体系一【第三版】」より引用

令和8年度の呉羽梨防除暦は、カブリダニ類等への影響が少ない「選択性殺虫剤」を採用しています。防除暦・特報に準じた薬剤を利用し、園地内の天敵を保護しましょう。